

学校名： 飯塚市立飯塚第一中学校

授業者： 町野 美和

1. 題材名「あなたは臓器を提供しますか」 D 生命の尊さ

2. 授業のねらい

本授業では、「臓器提供」という大人でも簡単に答えの出せない問題を取り上げ、「臓器提供」に関する様々な意見に触れることにより、命の大切さについて考えさせることをねらいとしている。「臓器提供」とは命をつなぐすばらしいものであることを、生徒も少なからず感じている。しかし、「臓器提供」という制度の裏にある、臓器提供を待つ患者(レシピエント)の命の時間との戦いや臓器提供をした人(ドナー)の遺族の苦悩、脳死を「死」として受け入れられるかどうかなど、1人では解決できない多くのことがあることを生徒は知らないだろう。

平成22年より15歳から臓器提供の意思表示ができるようになり、中学生も臓器提供について自分の考えを持つことが大切になっている。そこで、「大切な人から臓器提供について相談を受けたとき、あなたはどんな言葉かけをしますか」という課題を通して、臓器提供に対する考えを深め、自他の命の大切さについて考えさせたい。

指導に当たっては、エキスパート活動でドナーの遺族、レシピエント、病院と遺族との間にたつ臓器移植コーディネーターの3者の立場に立って考えさせる。そこで、臓器提供のすばらしさや、臓器移植に関わる人々の苦悩や想いを知り、本時の課題に対する現時点での自分なりの考えをまとめさせる。また、ジグソー活動で仲間の意見に耳を傾ける中で、臓器提供についての理解や考えを深め、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする態度を身に付けさせたい。

3. 上記の一連の学習で目指すゴール

臓器移植による命のあり方について考え、自他の命の大切さや今後の生き方について自分なりの考えを持つことの大切さに気付くことができる。

4. 児童生徒の既有知識、学習の予想

今回授業を行う学級では、道徳授業で他者と意見交流をすることが多く、ジグソー活動でもそれぞれの立場から意見交流が行われると予想される。しかし、自分の意見に自信が持てなかったり、他者の意見に流されやすかったりする生徒がいる。また、「大切な人から臓器提供について相談を受けたとき、あなたはどんな言葉をかけますか」という大人でも簡単に答えは出せない内容であるため、悩んで答えが出せないことも考えられる。よって、様々な立場からの意見を十分に吟味させた上で、ジグソー活動を行いたい。

5. 期待する解の要素（本時の最後に生徒が上記の課題に答えるとき、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）

<p>○臓器提供は「人の役に立てるもの」だけど、1人で決めるのはよくないと思う。</p> <p>○臓器提供はすばらしいことだけど、周りの人に色んな影響があることだから、家族の人に相談してみるべきだと思う。</p> <p>○限りある命を大切に、自分なりに意思表示をしたらいいと思う。</p> <p>〈評価〉</p> <p>○授業を通して、自他の命の大切さや今後の生き方について、他者と議論し、自分自身の考えを深めることができた。</p> <p>○授業を通して、臓器移植による命のあり方について考え、自分なりの考えを持つことの大切さに気付くことができた。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 6. 学習のデザイン

時間	学習活動	支援等
前時	<p>1 配布された資料から、題材(資料)の内容を確認する。</p> <p>○資料を読み、臓器提供と脳死について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドナーカード(意思表示欄を拡大)</li> <li>・グリーンリボンマーク</li> </ul> <p>2 課題を確認する。</p>	<p>○資料を読み聞かせ、本時の内容を把握させる。</p> <p>○臓器提供に対して深く考えていくために、臓器提供に関する知識や、関わる人々について具体的に説明し、理解させる。</p>
	<p>&lt;課題&gt; 「大切な人から臓器提供について相談を受けたとき、あなたはどんな言葉をかけますか」</p>	
	<p>○現在の自分の考えをワークシートに記入する。</p> <p>3 エキスパート活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エキスパートA 心臓移植を受けた人の感謝の手紙 (臓器移植による命のつながりや、移植医療の大切さについて考える)</li> <li>・エキスパートB 家族が脳死状態になり、本人の意思により、臓器提供に同意した遺族の手記 (脳死の受け止め方や、残された家族の苦悩について考える)</li> <li>・エキスパートC 病院と遺族との間につなぐ臓器移植コーディネーターのインタビュー (臓器提供をしなくても良いという判断の自由について考える)</li> </ul> <p>4 次時の活動を確認する。</p>	<p>○今の段階での自分の考えをもたせておく。</p>

<p>本時 5分</p>	<p>1 前時の学習の振り返りをする。</p> <p>○エキスパートグループで課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の内容</li> <li>・課題</li> <li>・エキスパートの内容</li> <li>・自分の意見</li> </ul>	<p>○エキスパートグループからスタートし、前時の振り返りをしやすくさせる。</p>
<p>展開 15分</p>	<p>2 ジグソー活動</p> <p>○各エキスパートで話したことを、グループ内で伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命のつながりや移植医療の大切さ</li> <li>・脳死の受け止め方や、残された家族の苦悩</li> <li>・臓器提供をしなくても良いという判断の自由</li> </ul> <p>○自分の考えを主張しながら、取り入れてもよいと考える他者の考えをワークシートにメモする。</p> <p>○グループで、課題に対する最終的な考えをまとめる。まとまらない場合は、まとまらない理由をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臓器提供をすすめる</li> <li>・臓器提供をすすめない</li> <li>・家族に相談させる</li> </ul>	<p>○対話を活発なものにするために机間指導を行い、話し合いを評価する。</p> <p>○エキスパートで考えてきたことと自分自身の考えをしっかりと伝えさせる。</p> <p>○他者の考えとの違いを押さえることで、多様な意見を受けとめさせる。</p> <p>○グループ内で意見がまとまりそうにないときは、脳死の場合や心肺停止の場合を考えさせてみる。</p>
<p>20分</p>	<p>3 クロストーク活動</p> <p>○各ジグソー班で話し合ったことを発表する。</p> <p>他の班から出た自分たちでは考えつかなかった意見や考えは、ワークシートにメモする。</p> <p>○個人の考えを全体で交流する。</p> <p>○補助資料を読む。</p>	<p>○個人の意見交流の参考とするために、まずは班としての意見を発表させる。</p> <p>○理由や考えをしっかりと持つことの大切さや、臓器提供をするかどうかは一人で簡単に決めることができないことをおさえる。</p> <p>○大切な人が家族である場合や提供を受ける側の場合も考えさせ、自分の立場によって意見が変わってしまうこともおさえる。</p> <p>○より価値にせまるために、補助資料を読ませる。</p>

<p>終末 10分</p>	<p>4 最終的な自分の考えをワークシートに記入する。 ○課題について、もう一度自分なりの言葉を考える。 ・臓器提供は「人の役に立てるもの」だけど、1人で決めるのはよくないと思う。 ・臓器提供はすばらしいことだけど、周りの人に色んな影響があることだから、家族の人に相談してみるべきだと思う。 ・限りある命を大切に、自分なりに意思表示をした方がいいと思う。</p>	<p>○個人で考えることの難しさから、家族や身の周りの人と話す機会をもつことの大切さに気付かせる。</p>
-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

7. 各エキスパート・ジグソー<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパート・ジグソーで押さえないポイント、そのために扱う内容・活動>

<p>○エキスパートA：心臓移植を受けた人が書いた感謝の手紙から、臓器提供の必要性について考え、臓器提供という制度が命をつなぐというすばらしさや、臓器提供を待つ長い時間闘病生活を送る患者の苦しみにについて考える。</p> <p>○エキスパートB：家族が脳死状態になり、本人の意思により臓器提供を同意した遺族の想いから、脳死に対する考えや遺族のやりきれない気持ちを理解し、臓器提供という制度が「命を奪う」ことになってしまうのではないかという現実と、それでも臓器提供が命をつなぐすばらしいものと信じている遺族の希望について考える。</p> <p>○エキスパートC：病院と遺族との間にたつ臓器移植コーディネーターのインタビューから、臓器提供は絶対ではなく、選択の自由であり、それを決めるのは本人及びその遺族であることを確認したうえで、臓器提供とは決して強要されるものではないということや、臓器提供を一人で決定することの難しさについて考える。</p> <p>○ジグソー活動では、意見がまとまらないグループが出ることも考えられる。まとまらない場合は、ホワイトボードにそのまま「まとまりません」と記入させ、掲示させることで、クロストーク活動で意見交流をする材料にする。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8. ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

<p>臓器提供の意思表示が可能である15歳になるとき、臓器提供に対してどのように感じ、提供の意思表示をするかどうか前もって自分なりに考えたり、家族と臓器提供について話し合ったりするきっかけをつくり、自他の命を尊重する態度を育てたい。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9. グループの人数や組み方

*エキスパートグループ	3人×9グループ	4人×3グループ
*ジグソーグループ	3人×9グループ	4人×3グループ